

# のびやか 47号



## 肢体不自由児施設通園部門 どんぐり園 「桜吹雪あそび」



桜の花びらをイメージしたピンク色の紙を細かくちぎり、送風機を使って上から降らしてあそびました。ダイナミックな演出に、はじめはお母さんたちも子どもたちもビックリ！

繰り返しあそぶうちに泣いていた子も泣き止み、紙ふぶきが舞っているのを見上げる子、手を伸ばして触ろうとする子の姿を見ることができました。

雨の多かった4月ですが、お部屋でも楽しくあそべた1場面です。



### 目次：

シリーズ「小児科から」	2
入所部門コーナー	3
「地域の事業所の紹介」	4～5
装具業者さんより ワンポイントアドバイス	6～7
読書コーナー	7
掲示板	8

## 『脳性麻痺について』 (3)

青い鳥医療福祉センター

小児科医長 生田 岳人



### 脳性麻痺と合併症について

脳性麻痺は運動障害だけでなく、様々な疾患を合併することが多くみられます。また赤ちゃんの時期には目立たなかった合併症の症状が、年齢がすすむとともに目立つようになることも多いため、合併症について知っておくことも重要です。今回と次回は脳性麻痺にみられる合併症についてのべます。

#### (1) 知的障害

重症の脳性麻痺は多くの場合、合併します。症状の程度は様々で症状の程度に合わせて対応をしていきます。

#### (2) てんかん

てんかんの定義は「さまざまな原因でおきる慢性脳疾患で、大脳神経細胞の過剰発射に由来する反復性発作（てんかん発作）を特長とし、それに関連した多種多様の臨床及び検査所見を伴う。」とされています。痙攣、意識障害などの発作を誘因なく繰り返す場合にてんかんと診断します。（一般的には無熱性けいれんを2回以上繰り返すときに診断される場合が多いと思われれます）脳性麻痺に合併するてんかんは、脳性麻痺をきたす脳障害を原因とします。発症時期も乳児期から成人になってからと多岐にわたります。ウエスト症候群、レノックス・ガストー症候群などの難治性てんかんを発症することも、脳性麻痺を合併しない場合に比べると多くみられます。また、脳性麻痺に合併するてんかんは、合併しない場合に比べて難治である場合が多く、抗てんかん薬を何種類も使う場合が多くあります。

### (3) 嚥下障害

脳性麻痺の児には嚥下障害がよくみられます。最重症では出生直後から嚥下が全くできず、出生後早期から経口摂取が不可能で経管栄養を必要とします。また、出生後早期は哺乳可能であっても離乳食がすすめられないといったことで嚥下障害が発見される場合もよくあります。嚥下は口や首、のどの筋肉を協調させて動かすことによって起きる動作ですので、全身の運動発達の遅れ、異常がある場合には通常の発達の児と同じ時期に離乳や食形態をあげることができません。思春期になって首が伸びることによって誤嚥が目立つようになり、それまで経口摂取が可能だった児が経口摂取をできなくなり、経管栄養に変えざるをえないこともよくあります。嚥下障害はいろいろなパターンがありますが、最大の問題は誤嚥で、空気の通り道である気管に食物、唾液などが流れ込むことで結果として肺炎を繰り返します。誤嚥を繰り返すことにより刺激になれてしまい、ムセがみられなくなることもあります。（ムセのない誤嚥もあります。）経管栄養には鼻から食道をとおして胃に細長いチューブをいれる方法と、胃ろう（お腹に小さな穴をあけて胃に直接チューブをいれる方法）があります。鼻からのチューブは手術をしなくてもよいのですが、肺の方へ間違っていてしまう危険性とチューブが入ったまま経口摂取をすると誤嚥の危険性が高い方法です。このため、最近は経口摂取ができない場合は早めに手術をして胃ろうを作る場合が多くなっています。

#### (4) 胃食道逆流

脳性麻痺の児に胃食道逆流は多くみられます。症状としては繰り返す嘔吐、繰り返す誤嚥性肺炎、喘鳴などです。脳性麻痺児の胃食道逆流の原因としては強い筋緊張、側湾による胸の変形、慢性的な呼吸障害などがあります。診断としては食道の24時間pH検査、上部消化管造影検査などの検査を行い診断します。程度がひどい場合には栄養状態が悪くなったり、呼吸不全などをきた

すため外科的に逆流防止の手術を行います。軽い場合は食事、経管栄養時の姿勢に気をつけたり、制酸薬の内服などの治療を行います。

次回は今回述べた合併症以外の合併症について書く予定にします。

## 入所部門

### ★★重症心身障害児(者)棟 「たんぽぽ東棟」 生活発表会★★

たんぽぽ東棟では、利用者さんが4グループに分かれ、グループ単位での活動を行っています。2月には「生活発表会」と題して、1年間を通しての活動内容の発表会を行いました。

#### <1グループ>



1グループは外出したときに食べた食事やおやつを思い出して発表しています。

#### <2グループ>



2グループは1年間行った色々な活動の中から習字を発表し、1年間の成果をみんなに見てもらいました。

#### <3グループ>



3グループは色々行ったイベントの思い出を四季毎にボードを使って発表してくれました。

#### <4グループ>



4グループは1年間を通してダイエットに取り組みました。その成果をグラフを使ってみんなに見てもらっています。

**みなさんとても楽しそうに思い出を発表してくれました！**

## 地域の事業所の紹介 Part8

### 児童デイサービス

#### 『ポテトフィールド』『じゃがいもの家』訪問記



3月に北名古屋市にある「ポテトフィールド」と「じゃがいもの家」という2つの児童デイサービス事業所を医師・看護師・支援員・保育士・リハビリ職員の数名で施設見学をさせていただきました。

この2つの事業所は、じゃがいもグループの（株）総合福祉サービスJ・Youが運営しています。このじゃがいもグループは「NPO法人在宅福祉の会じゃがいも」が核となって、児童デイサービス以外にも居宅介護や行動援護、移送サービス・入浴サービス・相談支援事業・児童館などさまざまな事業を展開しています。児童デイサービスのサービス提供地域は、北名古屋市・清須市・豊山町・岩倉市です。



#### <ポテトフィールド>

名鉄犬山線の西春駅から徒歩10分程の場所にあります。職員さんこだわりの三角屋根が印象的な茶色い建物です。畑や田んぼに囲まれ近くには健康ドーム、児童公園、福祉施設などがあります。また市内循環バスの発着場が近くにあり、その光景が「お気に入り」の子どもさんもおられるようです。

玄関を入るとバリアフリーになっており、車椅子のお子さんでも利用しやすい環境が整っていました。明るく、木のぬくもりのある部屋では、7～8名の子供達職員に見守られながら遊んでおりました。床上でのんびりと過ごしている子もいました。床暖房が入っており、足元はぽかぽかして子ども達のほっぺもほんのりと赤くなっています。

#### 【訪問日のスケジュール】

- ☆うがい
- ☆はじまりのかい
- ☆べんきょう
- ☆ボールあそび
- ☆トイレ
- ☆おやつ
- ☆あそび
- ☆かたづけ

た。定員は、午前中（9時～12時）が10名、夕方（15時～18時）は8名です。乳幼児から小学生までのお子さんが対象で養護学校に通っている肢体不自由や発達障がいのお子さんの利用

が多いそうです。当センターを利用されている子ども数名おり、思わぬところでの再会に不思議な顔をしている子もいました。子どもたちの表情がリラックスしている様子がとても印象的でした。

トイレの出入り口や引き出しなどには、子どもたちがわかりやすいように絵カードやマークが貼ってあります。訪問日の設定活動は、ボール遊びでしたが、これについても遊び方やルールが写真カードでわかりやすく提示されていました。またテーブルで集中して活動をするときにはカーテンで仕切りを作れるようになっています。

案内をしてくださった早川さんからは、「ここでは時間を過ごすだけではなく、楽しさと遊びを通して、基本的な生活習慣や社会性、運動・学習を身につけていけるように個々の発達段階に応じて個別援助計画を立てています」との説明があり

「NCプログラム」や「認知発達ドリル」等を活用していました。さまざまな教材があり、興味深くみせていただきました。個々の目標・課題（つまむ・待つなど）に対して、職員とマンツーマンで取り組む時間も取り入れていました。

また小規模多機能施設の「あったか倶楽部じゃがいも」が併設されており、こちらは高齢者の方々が利用されています。出入口は別々ですが、互いに行き来ができるような設計がされているので、高齢の方が和やかな雰囲気でも過ごされている様子も少しだけ垣間見ることができました。

<じゃがいもの家>

ポテトフィールドのみ見学の予定でしたが、歩いて5分程の場所に移転した「じゃがいもの家」も見学させていただきました。こちらは西春駅から5分ほどで空港線沿いという交通の便がよい場所にあります。白い一軒家に「じゃがいもの家」の看板がパッと目に入ります。一軒家を活用しているので、家庭的な雰囲気の中で療育が行われています。こちらは近隣の小学校の特別支援学級に在籍されている発達障がいのお子さんが主に利用されています。こちらの事業所も7～8名ほどのお子さんが利用しており、楽しそうにおもちゃで遊んだり、職員とお話をして過ごしていました。

曜日ごとに創作活動やクッキング、音楽療法、さまざまな取り組みがありますが、こちらの特徴は「入浴練習」の設定日があることです。浴室には、「服をぬぐ」「髪の毛を洗う」「からだを洗う」などの行為の一つひとつの手順について示された絵カードが置かれていました。

「地域社会で自立した生活を送る上で自宅と同じような環境のもとで日常生活のスキルを練習、できることを増やしていく、身につけていくことを大切にしている」とのお話を伺い、そのねらいが納得できました。

また職員とマンツーマンで課題に取り組む時間は、短い時間ではありますがコミュニケーションを図りながら課題に対して一生懸命に取り組む子どもの姿がありました。

お友達の家遊びに来るような家庭的な楽しい雰囲気の中に将来の自立にむけて、しっかり療育的視点を入れて支援がプログラム化されていることが印象的でした。



<施設見学の参加した職員の感想>

- ・実際に患者さんが利用している事業所を見学させていただき、「知る」ことができ良かったです。
- ・診察場面とは違う様子や表情をみることができました。
- ・これまで児童デイサービスをいくつか見学させていただいたが、事業所によって雰囲気や支援内容がずいぶん異なると感じました。
- ・見学をするまでは、親御さんの就労や家事などを理由に子どもさんを一定の時間、預かってもらうというイメージだったが、子どもの個々の能力に応じて細かな支援計画が立案され、目標設定や課題に対する取り組みを行っていることを知り、驚きました。子どもが主体のサービスだと知ることができました。サービスの利用は、保護者にとっても子どもたちにとっても有意義な時間だと感じました。
- ・発達の大きな柱を評価、長期利用も考慮し、ライフステージに即した福祉サービスだと感じました。またどのスタッフが対応をしても一定のサービスを提供できるように工夫されていると感じました。
- ・子どもたちは、遊びやささまざまな経験を通して、ルールや社会性を学び、身につけていく。学校や家の中だけでは、学べないことが多いので放課後の時間は大切な時間。児童デイサービスもその一助と感じました。

◆◇◆お問合せ先◆◇◆  
 (株)総合福祉サービス J・You  
 TEL 0568-23-4008



## ◆◇装具業者さんよりワンポイントアドバイス◇◆

## 子どもの靴の選び方

(有) アルテックブレース

島崎 豊和 氏

佐々木 浩一氏

## 「子どもの靴ってどんなポイントで選べばいいの？」

骨が柔らかく変形しやすい状態のお子さまの足のために、正しい靴を選んであげましょう。また、いくら正しい靴を選んでも、きちんと履かせてあげないとなんにもなりません。下の図を参考に、お子さまに正しい靴を履かせてあげてください。

## ■甲の高さが調節できること

足に合わせて甲の高さが調節できる、紐かワンタッチテープのタイプを選びましょう。どちらのタイプも子どもの足にあわせてきちんと締めてあげることが大切です。

## ■つま先は広く、厚みがあること

子どもは特に足の指で“地面をつかむ”ようにして歩くため、指を自由に動かせる余裕が必要。

## ■つま先が少し反りあがっていること

子どもはベタ足で歩くので、反りがないと蹴り出しにくく、つまずきやすくなります。

## ■かかと部をしっかり支えること

足が靴の中で動かないよう固定することで、安定した歩行ができ、指先の障害も防げます。

## ■足が曲がる位置で靴も曲がること

サイズが大きいと、この位置がズレます。厚すぎて曲がりにくい靴底にも要注意。

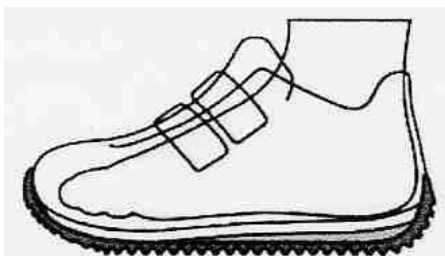
## ■適度に弾力のある靴底

地面からの衝撃を緩衝し、足を守ります。厚すぎる靴底はよくありません。

甲の高さが微調整できるか？  
足にあわせて調整できるひもかマジックテープのタイプを。

つま先が少し反りあがっているか？  
子供はべた足で歩きます。反りがないとつまずきやすくなります。

かかと部がしっかりしているか？  
足が靴の中で動かないように固定する事で、安定した歩行が可能になります。



つま先は広く、厚みがあるか？  
子どもは指で地面をつかむように歩くので、指を動かせる余裕が必要。

靴底に適度な弾力があるか？  
地面からの衝撃をやわらげ足を守ることが大切です。厚すぎる靴底もNG。

足が曲がる位置で靴が曲がるか？  
サイズが大きいと位置もずれてしまいます。厚すぎて曲がりにくい靴底も要注意。

## 靴のフィッティングをしよう。

### ●まず靴を選びましょう

#### 1. 足の長さを合わせる。

- ・つま先に5mm程度余裕があるのが、ちょうどいい状態です。

購入するときの靴のサイズは、足よりも5～9mm程度大き目を目安に選択し、左右長いほうの足を優先させましょう。中敷を取り出してその上にお子さまに立ってもらい、つま先に10mm程度の余裕があることを確認してください。

#### 2. 足の周りを合わせる。

- ・足囲を確認し、幅広であれば幅に合わせたサイズを選びましょう。

### ●靴は必ず履きましょう

#### 1. 靴下を履きましょう。

- ・普段、靴下を履いて靴を履く場合は靴下で、靴下を履かない場合は素足で靴を履いてフィッティングをチェックしましょう。衛生面から考えるとできるだけ靴下を履くことをお勧めします。



#### 2. 靴を履きましょう。

- ・かかとをぴったりと合わせ、ベルトもしくは紐を痛くない程度にきちんと締めます。

(つま先をあげた状態で、かかとでコンコンと床を叩いてもらうと、かかとが合います。)

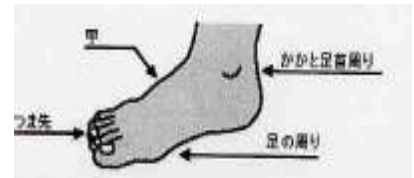
### ●フィッティングをチェックしましょう

#### 1. 立ってもらってチェックしましょう。

- ・つま先に10mm程度のゆとりがあり、指が自由に動くか？
- ・足の周りはきつすぎないか、余裕がありすぎないか？
- ・かかとがぶかぶかでないか？靴のかかとの部分を押さえてかかとをあげてもらい、脱げないかどうかを確認しましょう。
- ・甲全体がフィットしているか？足の甲が高いときは甲に合わせて大きめのサイズに変更しましょう。

#### 2. 歩いてもらってチェックしましょう。

- ・歩き方が不自然ではないか？
- ・かかとがぶかぶかでないか？
- ・痛いところがないか？



以上の項目を確認して、しっかりと足に合った靴を選びましょう。

## 読書コーナー

### 『ミッケ』

文 ジーン・マルゾーロ 写真 ウォルター・ウィック  
訳 糸井重里



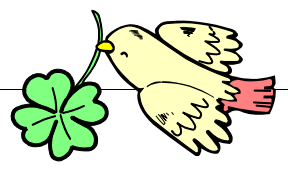
「ミッケ！」の名のとおり、おもちゃ箱をひっくり返したような写真の中にかくれている小さなおもちゃをさがしていく絵本です。

「～をさがそう」ではなくて、さがすものも質問形式になっていて想像力を必要とします。  
どんなものがみつかるでしょうか？

大人も子どもも夢中になってしまう本です。

集中しにくいお子さんや奥ゆきがわかりにくいお子さんにも楽しんで見てもらえる本です。

(作業療法士 平野 幸乃)



## 外来診療のご案内

	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~ 12:00	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 児童精神科(野邑) <第1・3・5> 歯科(岡本)	小児発達外来(安井) 皮膚科(杉浦) 児童精神科(松平) <第1・3・5> 児童精神科(小野) <第2>	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 小児発達外来(安井)	整形外科(栗田) 耳鼻科(別府) 児童精神科(早川) <第2・4>	整形外科(栗田) 小児科(安井・生田) 児童精神科(鈴木) <第1・3・5>
	耳鼻科(別府) 児童精神科(野邑) 歯科(伊藤) 外来新患カファレス	小児科・染色体外来(山中) <第2・4> 児童精神科(松平) <第1・3・5> 児童精神科(小野) <第2>	リハ科(岡川) 小児発達外来(安井) 泌尿器科(斎藤) <原則として第2・4> 眼科(高井) 歯科(加藤)	児童精神科(早川) <第2・4> 歯科(河合) <毎月1回>	児童精神科(鈴木) <第1・3・5> 小児外科(小児外科医) <第3>



- 名鉄犬山線 中小田井駅下車(名古屋駅から犬山方面普通電車で乗り、4つ目の駅、所要時間9分)徒歩で約3分。
- 地下鉄東山線 上小田井駅下車 徒歩で約3分。
- 一宮方面からは、国道22号を「古城」で左折、4つ目の信号「中田井4」を右折し、2つ目の信号を左折してすぐ左折。
- 稲津方面からは、東名阪自動車道 山田東インターを降りて約10分。
- 四日市方面からは、東名阪自動車道 平田インターを降りて約5分。

○平成22年4月1日現在の外来診療です。  
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください。

ホームページもご覧ください  
<http://www009.upp.so-net.ne.jp/aoitori/>  
 \*過去の「のびやか」も掲載されています。